

6月定例議会 町政報告

令和5年第3回小坂町議会が6月15日から21日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等19議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

町政報告要旨

▼新型コロナウイルス接種

町では6月から春の接種を実施しています。対象者は、2回の初回接種完了者で、65歳以上の方、12歳から64歳までで基礎疾患のある方またはその他重症化リスクが高いと医師が認める方、医療従事者等となっています。第1弾は6月22日から7月1日まで、第2弾は7月22日から31日まで行います。いずれもこれまで同様、小坂町診療所で個別接種で対応します。

また、児童の初回接種は、5歳児から11歳児は鹿角市へ、生後6か月から4歳までの乳幼児は大館市へ引き続き依頼するほか、秋の接種は5歳以上の初回接種を完了した全ての方々を対象に9月から12月の実施を予定しています。

▼観光客の入り込み状況

今年の4月28日から5月7日までのゴールデンウィーク期間中の観光客数は、十和田湖主要宿泊施設の宿泊者数が、3,369人で昨年の3,308人と比べて約1.8%の増、外国人宿泊客は昨年の2人から169人となっています。主要観光施設では、康楽館が1,389人で、昨年の1,688人と比べて約17.7%減、小坂鉱山事務所が1,108人で、昨年の1,327人と比べて約16.5%減、小坂鉄道レールパークが1,257人で、昨年の1,369人と比べて約8.2%減となっています。康楽館への教育旅行の入館状況は、昨年度120校、9,981人の実績に對して、今年度は秋田県内小中学校の修学旅行先が宮城や東京へ戻ってしまったことで、現在までの実績と予約を含めて、80校、8千人を見込んでいます。

十和田湖では外国人観光客が戻っており、国内旅行について

も5月連休明けに新型コロナウイルス移行になったことで、今後の団体旅行にも期待ができると思っています。

今後においても、広域観光連携やイベントの開催など、町としても切れ目のない観光宣伝・誘客促進事業を展開し、地域の活性化を図ります。

▼十和田湖観光振興センターのオープン延期

十和田湖和井内地区に整備している十和田湖観光振興センターについて、3月定例議会でも10月7日オープンと報告して

きました。十和田湖は国立公園であると共に、文化財保護法に基づいて指定した特別名勝と天然記念物に重複指定されていることから、開発行為には文化庁の許可が必要とされています。そのため、当初計画から変更が生じた駐車場等の外構工事について文化庁に2月に変更申請をして許可を得た後、4月上旬から6か月の工事期間により9月の

完成を見込んでいました。しかし、3月下旬時点の状況で、変更申請事務の遅れにより、まだ文化庁の許可がおりていないことが判明しました。その後、工事内容の変更のため県を通じて文化庁と協議したところ、許可がおりるまでかなり時間を要することが見込まれることから、

駐車場等の外構工事が大幅に遅れることが確実となり、今年度のオープンは断念するしかないと判断しました。

今後の予定としては、国と協議するための申請書類を速やかに整理・作成して変更申請を行い、来年度のオープンを目指して準備を進めます。当初から令和5年秋のオープンということで準備を進め、町内外に広く宣伝発信してきたことから、議会を始め、国・県や関係者、オープンを楽しみにしていた町民の皆さんにご迷惑をおかけしたことに對し、深くお詫び申し上げます。

▼アカシアまつり

6月10日と11日の2日間にわたり、第38回目となるアカシアまつりが中央公園で開催されました。2日間とも好天に恵まれ、町内外の多くの来場者から楽しんでいただけたものと思います。

アカシアまつりのイベントは、地元小・中学校、高等学校の児童・生徒による演奏や舞のほかに、秋田県警音楽隊やアーティストによるコンサート、ヒーローショーなどの多彩なステージイベントがまつりを盛り上げました。恒例のお楽しみ露店やキッチンカーによる出店、こども縁日をはじめ観光施設を巡る「スタンプラリー」に加え、自衛隊や警察署、消防署など各関係機関によるPR出展などが実施されるなど、多くの来場者に喜んでいただきました。